

「献体制度の尊厳を守るために：長崎大学医学部・歯学部からの声明」

長崎大学医学部・歯学部は、長崎大学と関連のない一部医師によるカダバーサージカルトレーニング（ご献体いただいたご遺体を使わせていただいて行う手術手技の修練や研究）に関連した不適切な事案に対し、深い憂慮と遺憾の意を表明します。このような行為は、医療教育や研究を支える献体制度への信頼を著しく損なうものであり、ご献体いただいた方やそのご家族、また献体団体の皆様の崇高な善意に対する重大な冒涇であると言わざるを得ません。

献体制度は医学・歯学の教育と進歩に欠かすことのできない、かけがえのない存在です。私たちは、献体者ご本人とそのご家族、そして献体団体の皆様の尊い篤志に心から感謝し、その意義を重んじることが医学・歯学教育機関の責務であると認識しております。この度の不適切な事案によって、その深く尊いお思いが踏みにじられたことについて、医学・歯学教育に携わる一員として重ねて遺憾の意を表明いたします。

長崎大学医学部・歯学部では、学生のための解剖学教育および医師・歯科医師のためのカダバーサージカルトレーニングを含むすべての解剖学教育において、「死体解剖保存法」、「医学及び歯学の教育のための献体に関する法律」、「臨床医学歯学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」といった指針を厳格に遵守しています。それだけではなく、献体制度に関わる皆様への深い敬意と感謝の心を育むことを教育の礎としております。また、学生や医療従事者に対し、倫理観と責任感を備えた医療者へと成長するための教育を徹底しています。

長崎大学医学部・歯学部は今回の事案を教訓とし、医学教育現場における不適切な行為など決して起こることのないよう、教育、指導をさらに徹底し、医学・歯学教育の信頼性を守り、未来の医療を担う人材を育成する使命を全うするため、全力で取り組んでいく所存です。今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年1月

長崎大学医学部・歯学部